

熊本城ホール

大規模催事などの募集開始!

来年12月に開業を予定している熊本城ホールの使用に関する相談受付などを開始します。



受付日
7月2日(月)～

条件①～③のいずれか1つに該当)

- ①国際会議の開催のために使用する場合
- ②熊本城ホール全館を使用する催事を開催する場合
- ③その他、大規模催事などを開催する場合

※上記以外での使用相談などについては、来年4月1日からの受付開始となります。

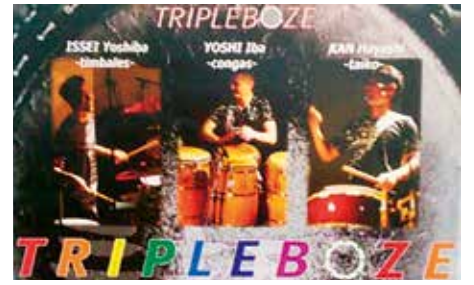
詳しくは、電話(☎096-312-3737)またはメール(info@kumamoto-jo-hall.jp)で熊本城ホール運営準備室へ。
※平日の午前9時から午後5時まで(年末年始を除く)。

熊本城ホール開業機運醸成イベント2018

トリプルボウズ2nd 無料

～3人の打楽器奏者による
ライブ&ワークショップ～

前回大好評だったイベントを再び開催!ソロやユニット活動で全国を飛び回る、今もっとも注目の和太鼓奏者「林 幹」、オルケスタ・デ・ラ・ルスのコング奏者で、今や日本の第一人者「伊波 淑」、キューバでも活躍、ティバレスの鬼才「吉羽 一星」が再登場。小中学生や親子での参加も大歓迎!



日時 8月19日(日) 午後2時～4時(予定)

場所 市庁舎14階大ホール

内容 ライブ、打楽器演奏体験など

定員 180人(先着順、未就学児は保護者同伴)

申込み 7月9日(月)から8月16日(木)まで、参加者全員(最大10人)の氏名(カナ)、代表者連絡先を電話(☎096-334-1500)またはホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ

新ホールマネジメント課(☎096-328-2077)

市長と直接、意見交換をしませんか!

市長が地域に出かけ、「地域まちづくり」をテーマに話をし、まちづくりへの提案や意見をお聴きします。

「市長とドンドン語ろう!」参加者募集!

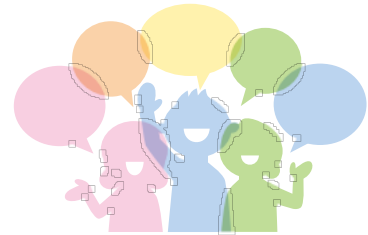
中央区開催分

日時 8月17日(金) 午後7時～9時
場所 大江公民館大ホール
対象 白川・大江・出水・出水南・砂取・白山・託麻原・帯山・帯山西の各校区に住むか通勤・通学する方

※壺川・碩台・城東・黒髪・慶徳・一新・五福・向山・本荘・春竹校区は、昨年度実施済みです。

富合開催分

日時 8月22日(水) 午後7時～9時
場所 富合まちづくりセンター
富合公民館(アスパル富合)研修室
対象 富合校区に住むか通勤・通学する方

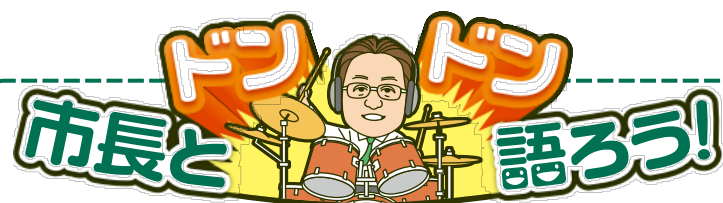


【各回共通】※手話通訳・要約筆記の希望者は開催1週間前までにご連絡ください。

定員 各100人(先着順)

申込み 7月18日(水)から開催地区名、住所、氏名、電話番号、校区名、申込人数を電話(☎096-334-1500)かファクス(096-370-2002)またはホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ

(広聴課 ☎096-328-2075)



九州都市中学生交流大会の復活

昨年の夏に開催された「九州都市中学生交流大会」に参加しました。この大会は昨年で終了し、今年は開催されないと聞きました。私にとって、この大会に参加した経験はとても貴重な経験になりました。後輩のためにも、大会開催の継続をお願いしたいと思います。



この交流会は平成10年から九州内の6都市で始まりましたが、他都市の離脱により開催が困難となりました。しかし、他都市の中学生と交流することは、大変有意義なことであると考えています。今後、違う形で若い世代の交流ができないか検討するとともに、他都市の市長に働きかけたいと思います。



熊本市長 大西一史

4月26日に「市長とドンドン語ろうin植木」として、まちづくりについて地域の皆さんと語りました。

北区植木町の観光政策

北区植木町には、西南戦争資料館、田原坂公園、植木温泉など、観光客を誘致する魅力ある施設が多くあります。北区植木町の観光政策をどのように考えていますか。



観光政策については、ストーリー性を持たせることが重要であると考えています。例えば、今はNHK大河ドラマで「西郷どん」を放送しており、西南戦争を考える良い機会です。田原坂は西南戦争をきっかけに日本赤十字の発祥の地となりました。世界赤十字の発祥の地ソルフェリーノの丘があるイタリアや日本赤十字社からは、本市との連携を図りたいとの声をいただいております。田原坂とソルフェリーノの丘が結びつき、イタリアの方が熊本にお越しいただけるような仕組みづくりが必要であると考えています。

老人クラブの存続

私たち老人クラブの会員が5年間で100名減少しました。これからもこのような状況が続くと、5年後10年後に老人クラブが存在するかどうか心配しています。なんらかの支援をしてほしいです。



人口の高齢化が進む中、健康づくりや生活面など地域での助け合いを行うためには、老人クラブなどの組織をさらに活性化させることが大切です。熊本地震を経験し、人と人のつながりの大切さを感じて老人クラブへ新しく加入している方もおり、今後、市老人クラブ連合会などにもご意見を伺い、どのような支援が可能か検討していきたいと考えています。

※やりとりは一部を抜粋したものです。

